

# ふれあいと対話が築く 明るい社会

## 7月は「社会を明るくする運動」の月間です。

毎年七月は社会を明るくする運動の月間です。この運動は、どういったものなのでしょうか。実施委員会副委員長の江端義栄さんに紹介していただきます。

第四十三回「社会を明るくする運動」実施

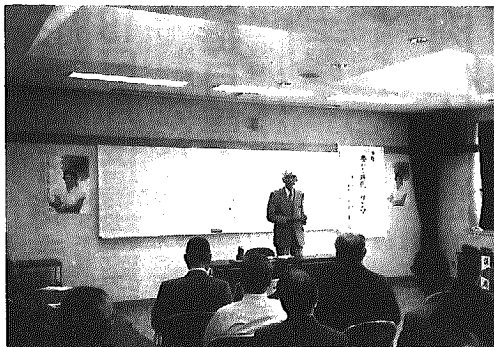
社会を明るくする運動は、昭和二十五年に法務省が全国民一斉に始めた訳ですが、実際には内容がはつきりしない感がある。今年で四十三回目を迎えたが、一般住民の方には、あまり浸透していかないのではないかと思われま。

実施する趣旨は犯罪の防止と罪を犯した人達の更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ犯罪者のいない明るい社会を築こうとする全国的な運動なのであります。期間は七月一日から三十一日までの一カ月間ですが、年間を通して一日たりとも、たゆむことの出来ない重大さを持っています。

重点目標は青少年の非行防止と犯罪者の更生保護を計り地域住民の理解と参加を求めるものであります。青少年の非行の現況は数字では減少傾向を示しているが依然として刑法犯検挙数の六十五%を青少年が占めています。この外に

交通事犯があり、憂慮すべき状況です。

黒埼町においては、青少年育成町民会議、青少年問題協議会等と連携をとりながら、健全育成と防活動に全力を傾注しています。毎年、町民の皆様方から「愛の



写真上/昨年の社会を明るくする運動の講演会の様子。「豊かな時代のサンマ」と題して、萩屋薫さんの講演が行われた。写真下/熱心に受講する参加者の皆さん。

協力金」の募金をお願いしています。この尊い協力金によって、犯罪者の更生に資するのであります。皆様方のご理解をお願いいたします。

実施行事としては、七月十七日午後二時から、公民館講堂で映画

と講演会を開催いたします。住民多数の特に青少年をお持ちのご父兄様の参加をお願いする次第であります。

青少年の非行防止、犯罪からの更生には、地域ぐるみでの理解、協力が必要です。ぜひ、この運動にご参加ください。

◎社会を明るくする運動の事業  
●講演と映画会  
日時 七月十七日(土)午後二時  
会場 黒埼町公民館講堂  
講演 「大人の中に生かされている子供たち」  
講師・瀬田甲一郎さん(実践空手道三条拳心館主宰)  
映画 「十七歳のはばたき」(主演・辰巳琢郎)

### ほんの一冊

#### 「魔法の世界の子どもたち」

高辻玲子著  
講談社現代新書

乳幼児期の子どもたちは皆、自分を魔術師だと思っている。自分の欲求を外界にむけて示しさえすればミルクや抱っこなど心地よい状態を得ることができるからだ。そんな認識にた

って、本書は、魔法の世界にいる子どもの理解のためにかかれた。心身未分化の子どもの問題行動、それを問題行動として捉えるのはおとなの価値観である。たとえそれが逃避であつても次の成長のための癒しの時期だとするならば、ありのままの子どもを受け入れることから全てが始まる。日米の育児書の比較も交えて、臨床心理の現場から現代社会の歪みが見えてくる。類書の中では読みやすくお勧めです。

(中山佳奈恵)

#### 〈人の動き〉

5月末日現在	(前月比)	前年同日比
人口 23,926	(+26)	[+164]
男 11,720	(+19)	[+47]
女 12,206	(+7)	[+117]
世帯 6,639	(+6)	[+130]
5月1日～末日		
出生 14	転入 83	
婚姻 23	転出 59	
死亡 12		



今年も入梅の時期を迎えて、雨模様の日ですが、いかがお過ごしでしょうか。編集子は原稿を書くベンも、まるで「カビ」が生えたようにすずまず、何か暗々としなない気分毎日を送っています。(と、いつてもベンがすまなのは天候のせいばかりではなかつたりして)▼今月号の巻頭特集では、「町が変わる」と題して道路、開発、下水道など現在進んでいる大きな事業を取り上げてみましたがいかがでしたか。この「町が変わる」は今回で三回目。一回目は平成元年の七月号、二回目は平成三年の十二月号で紹介しましたが、前の広報と見比べると町の変わり様が良くわかるようです。ぜひ、見比べてみてください。

▼人のコーナーは都合により、休載させていただきます。

◎さて来月号は、六月定例議会と町制20周年記念野球教室などお知らせする予定です。

